



# CHRONOLOGY 年表・協会50年の歩み

西暦	元号	事項
1945	昭和 20	太平洋戦争敗戦
1947	22	井上高雄、横浜市大相田講師など、みかんの対ソ輸出、農業技術（ミチューリン農法）、文化交流を目指し、小田原に日ソ協会の前身となる日ソ親善協会を設立。
1955	30	陣の内鎮（築地小劇場の演劇家）、古屋清（日本共産党神奈川県委員会）、玉木清（伊勢崎町「昭和堂」社長、落合夫妻、佐藤敬治（岡村製作所労働組合委員長）等、日ソ親善協会横浜支部設立。
1960	35	第1回モスクワ日本産業見本市視察団参加、神奈川県より柴田（協会）、井上（国府津「井上みかん店」常務）、矢作（東洋製罐 kk）の3名。スカパー業者とソ連大使館通商代表部との懇談会を組織。日ソ協会横浜支部に経済専門委員会結成、委員長・柏木利雄（株式会社かしわざ社長）、委員：山本斎（佐伯螺子工業社長）、玉木清、古屋清。
1961	36	野毛大通りポーラ化粧品 2F に、日ソ協会横浜支部事務所開設、会員 25 名、事務局専従柴田順吉（高木学園教諭）就任。日本とソビエト（神奈川県）創刊。「大十月革命の響き」（斉藤秀夫著）出版。県連ロシア語教室開講。小児麻痺生ワクチン輸入運動。A.Mozhaiskij 号、横浜・ナホトカ航路に就航、親善パーティー開く。以後、毎年ヨールカ祭として定着。ポリショイサーカス日本初公演に 5,000 人動員。
1962	37	川崎支部発足。神奈川県連結成大会開かる。横浜 330、川崎 18、横須賀 68、海老名 14、戸塚 7 名、小田原 48 の 6 支部、485 人の個人会員。ロシア語教室、横浜 80、川崎 31、小田原 20、合計 131 名となる。横浜は以後、毎年継続。心臓病のアコちゃん、ソ連へ治療に送る。社会保健協議会と協力、後に、「全国心臓病の子供を守る会」結成に発展。合唱団「ミール」発足。モスクワ、キエフ日本化繊見本市に視察団派遣、以後、頻繁にソ連、東欧に視察団派遣。
1963	38	日ソ・ソ日両協会合同活動者会議に代表 2 名派遣。
1964	39	ザーラ・ドルハノヴア公演（横浜・小田原）計 2,700 名参加。M. ネステロフ・ソ日協会会長の日ソ協会に対する不当な干渉に関し、中央常任理事会に神奈川県連の意見書提出、両協会の対等平等、内部問題不干渉を強調。両協会の関係の正しい発展に貢献。
1965	40	横浜高島屋で「ソビエト民芸品展」大盛況、これを契機に高島屋に民芸品部出来る。県連の横浜貿易協同組合設立準備会に飛鳥田市長、北見経済局長出席。県評に「神奈川県日ソ友好組織準備会」発足するも中止。ソ日協会の日ソ協会に対する大規模、本格的な分策謀始まる。12 月小田原みかん試験輸出成功。落合元横浜支部副支部長を永年勤続慰労と静養のためナホトカに送る。
1966	41	第 4 回定期総会、飛鳥田名誉会長、渡辺会長、小泉理事長。横浜貿易協同組合設立、柴田事務局長は同組合常務理事に転出。県連事務局長に竹田昭彦就任。事務所、桜木町より東神奈川駅前に移転。モスクワ合唱団横浜公演を契機に、横浜市にオデッサとの姉妹都市提携を提案、柴田常任理事オデッサに Aleksey Zayarnyj 市長訪問、姉妹都市提携実現の条件を整える。
1967	42	磯子支部事務局長に宇井敬真。横浜貿易協同組合、ソ連極東産物材初輸入に成功。横貿協、横浜市および JETRO の依頼によりソ連東欧の市場調査。県連、ベトナム戦争反対決議。磯子ロシア語教室発足。
1968	43	スパスク号、スラヴヤンスク号、シャルパー号、バイカル号、ハバロフスク号、スラック号、などとの交流、盛んにおこなわる。
1969	44	この年、事務局弱体化のため、県連機関紙一回も発行できず、活動は停滞。
1970	45	レーニン生誕 100 周年記念パーティー。
1971	46	県連「ロシア語教室開講 10 周年記念の夕べ」。杉山秀子、モスクワ大学留学。小泉理事長退任。ロシア語でロシア民謡を歌う会（Tanya）。バイカル号船上ロシア語教室開講（1 期 6 ヶ月）、交流会も盛んに行われる。柴田理事長就任。
1972	47	モスクワのロシア語講師セミナーに杉山秀子講師を派遣。青年、婦人活動家 3 名ソ連に派遣。アルトゥール・エイゼン、キリル・ピノグラドフ公演。県連理事長に古沢太穂（新俳句人連盟委員長）、柴田は副会長に。
1973	48	県連創立 10 周年記念レセプション。横浜貿易協同組合、プラハに事務所開設。県連青年部結成さる。
1974	49	ダニール・シャフラン（チェロ）公演 850 名。竹田昭彦、県連理事長就任、事務局長、古牧次郎。トレグーポフ・ソ日協会副会長来浜、飛鳥田市長（県連名誉会長）と懇談。
1975	50	県連事務所、関内不老町に移転、400 万円カンパ実行。ポリショイ・バレエ、モイセイエフ・バレエを後援。映画「石の花」『偉大なるバレエへの道』上映会。
1976	51	県下初のロシア語能力検定試験おこなわる。モスクワ・フィルハーモニー公演（後援）。「ソヴィエト名画の夕べ」（シベリア物語、戦艦ポチョムキン）。ロシア語点字辞典、バイカル号より贈られる。大崎平八郎、県連会長就任。ロシア語昼間クラス新設。
1977	52	大崎会長、日ソ協会訪ソ代表団代表としてソ連へ。相鉄ゾイナスにてアゼルバイジャン共和国展。横浜三越にて岡田嘉子特別講演「ソ連に移り住んで 37 年」。神奈川県国際交流協会と共催、「ソ連 60 年の歩み」講師：大崎、岡田、柴田。
1978	53	県連新春研修会。オレグ・カガン、バイオリン演奏会。
1979	54	柴田順吉、理事長に就任、竹田理事長、副理事長に。夏休み・ソ連極東つりの旅（週刊「つりニュース社」後援）。
1980	55	横浜で全国総会開催。「シベリアの旅」ブリアムーリエ号チャーター、194 名参加。
1981	56	斉藤秀夫、県連事務局長に就任。ダニール・シャフラン、チェロ演奏会。
1982	57	イリヤ・グーベルト（ヴァイオリン）10/16、ミハイル・ブレトニョフ（ピアノ）11/9 の演奏会。デルス・ウザーラ 10/20 上映会。アンサンブル「ムジウリ」川崎公演。シベリア・ツアー。合宿学習会。
1983	58	ハバロフスク号、バイカル号と交代。スベルドロフスク民族アンサンブル。エイゼンシュタイン作品上映会。陣ノ内顧問、「いま、なすべきこと」を県連機関紙で提起。
1984	59	斉藤事務局長退任、植木義秋事務局長新任。佐藤友吉、事務局次長に。タマラ・シニャフスカヤ（メゾソプラノ）演奏会、シベリア物語上映。
1985	60	創立 25 周年記念祝賀会。「シベリアとバイカル湖への旅」50 名参加。「オデッサ・モスクワ・レニングラードの旅」11 名。
1986	61	ハバロフスク号、ジェルジンスキー号と交代。船員との交流盛んに行われる。県連、桜木町駅前に新事務所建設を計画。（有）カチューシャ設立（会員出資金 500 万円、商工中金より借入金 3,600 万円理事長個人保証）。イーゴリ・ガブリリッシュ、チェロ公演。
1987	62	ウズベック民族アンサンブル「リャズギ」公演。ディーナ・ヨッフエ、ピアノ・リサイタル。県連 9・20 桜木町新事務所へ移転。「石の花」上映会。
1988	63	ソビエト研究所の設立、2,000 万円資金調達のため大崎会長、鎌田会長と交代。渡辺輝一顧問逝去。チェルネンコ号（13,000 トン）就航。交流会大盛況。リュドミラ・ズイキナとロシア民族アンサンブル。植木、副理事長に、佐藤友吉、事務局長に就任。

西暦	元号	事項
1989	昭和 64 平成元	リトアニア民族舞踊アンサンブル公演。ルーシ号就航。交流会盛ん。ソ日協会代表団来訪。ザハレンコ（ソプラノ）・グトローヴィッチ（テノール）公演、450 名参加。
1990	2	植木氏理事長就任。柴田理事長は副会長に。
1991	3	事務局長に木田和夫。佐藤友吉氏次長に。ロシア語教室創立 30 周年記念祝賀会に 100 名を超える参加者。
1992	4	ロシア民族アンサンブル「ゴールデン・リング」公演。ソ連国内の混乱により、予定された諸行事のキャンセル相次ぐ。ソ連邦の崩壊に伴い、日ソ協会、日本ユーラシア協会に名称変更。ロシア民族アンサンブル「ト・シトー・ナダ」公演。
1993	5	横浜〜ナホトカ航路廃止。清永恵子事務局長に就任。
1994	6	ブリャンスク民族アンサンブル「マコーシャ」公演。ロシアン・デュエット、「ユーリーとスヴェトラナ」公演。
1995	7	清永、事務局長を辞任。ロシア商品バザー 3 回実施、好評。
1996	8	関戸真哉、事務局長に就任。
1997	9	植木理事長、退任。柴田副会長、理事長に復帰。県連創立 35 周年記念祝賀会、「35 年の歩み—平和と友好一筋に」を出版。機関紙の B5 版化。
1998	10	アンドレイ・ゴルバチョフ「クラシック・デュエット」バラライカ・ピアノ演奏会 7/21
1999	11	第 1 回「大河アムール・大自然とふれあいの旅」。ロシア料理教室、ハイキング、ビデオ上映会、ヴァスクレセンスキー・ピアノ・リサイタル、ロシア語交流会などおこなわる。全市一斉ロシア語ポスター貼りなど。会員数急速に増加傾向に。忘年会。
2000	12	ヨールカ祭、ビデオ上映会、ハイキング、第 2 回「大河アムール・大自然とふれあいの旅」など。ロシア語大交流会、マトリョーシカ教室、ロシア文化を楽しむ会、ロシアを知る会（横須賀鎌倉、藤沢）など。鎌倉ロシア語講座始まる。会員数 213 名に。穂坂事務局員により県連初代HPできる。バラライカ教室設立（講師ソトヴァ・ラリーサ）。望年会。
2001	13	ロシア人墓地参拝、ジバエドフ・平和・友好コンサート、第 3 回「大河アムール・大自然とふれあいの旅」など。岩田弘、事務局次長に。ロシア料理教室、鶴沼海水浴、花火大会、鎌倉散歩など。横浜バラライカ・アンサンブル、デビュー。NHK、バラライカ教室を取材。望年会。会員数 223 名。
2002	14	ワールドカップ・ブレイヴェント各区で多数開催。バラライカ教室第 1 回発表会。本牧散歩。マトリョーシカ教室。ロシア語能力検定試験再開。ユーラシアクラブ発足。料理教室。NPO 法人化のための臨時総会。国際仲かたショー参加。第 4 回「大河アムール・大自然とふれあいの旅」。山手 111 番館「ロシアのクリスマス」全面後援。ワールドフェスタ参加。
2003	15	ヨールカ祭、会館 3,4,5 階で開催。県連事務所拡張。サンボ教室発足、NHK が教室取材。県連創立 40 周年記念コンサート。ロシアの歌でロシア語を学ぶ会発足。6 月、協会組織を NPO 法人に改組。第 5 回「大河アムール・大自然とふれあいの旅」。横浜人形の家「マトリョーシカ展」後援。藤沢市にロシア語サークル「サモワールスポット」誕生。ワールドフェスタ参加。秋の文化祭・NPO 設立記念講演会「スポーツを通じて日露文化交流史」とコンサート。ユーラシアクラブ。
2004	16	ヨールカ祭。ロシア料理教室月例化、毎回満員の盛況。チェーホフ没後 100 周年記念講演会。横須賀散策。ロシア語教室第 100 期記念講演と祝賀会。会員数 264 名（6/28）。当会「異文化理解講座・日本語教室」に YOKE（横浜国際交流協会）より補助金交付決定。海の日折り紙教室・旅行説明会・花火鑑賞。会員親睦海水浴。第 6 回「大河アムール・大自然とふれあいの旅」。ワールドフェスタ参加。秋のハイキング。ロシア語能力検定試験。ヤンキナ母娘「ロシアの家庭音楽会」。マトリョーシカ絵付け教室。同居団体の退去に伴い事務所面積倍増。山手プラ 18 番館展示「ロシアのクリスマス」とコンサート。
2005	17	ヨールカ祭。NPO 法人神奈川県日本ユーラシア協会第 1 回定期総会・記念講演「日本各地に残る日露交流史」（金田一真澄）。第 1 回バスハ（復活祭）開催。講演会「日露戦争と日本正教会」。第 102 期・103 期ロシア語教室。異文化理解講座。海水浴、花火大会鑑賞。第 7 回「大河アムール・大自然とふれあいの旅」。第 49 回ロシア語能力検定試験。「ぎけ、わだつみの声」上映と講演。関東東北ブロック研修セミナー横浜開催。ロシア語週間。横浜国際フェスタ参加。料理教室。マトリョーシカ絵付け教室。バラライカ・ドムラコンサート。アンサンブル「ドリームガールデン演奏会」。望年会。大崎平八郎元会長逝去。
2006	18	ヨールカ祭。第 2 回定期総会。第 49 回全国総会横浜開催。第 2 回バスハ。第 104・105 期ロシア語・日本語教室。バラライカ・ドムラ・声楽教室。初夏のダーチャ料理教室。第 8 回「大河アムール・大自然とふれあいの旅」。第 50 回ロシア語能力検定試験・同対策講座。ユーラシア・アンサンブル神奈川労連定期大会に出演。ユーラシアーズ・ロシア語教室開講。「Wing 上大岡」にてコンサートとロシア物産展。横浜山手外国人墓地内ロシア人墓地慰霊祭。横浜国際フェスタ参加。中村平八会長、大山麻稀子理事出版記念公園と祝賀会。望年会。
2007	19	ヨールカ祭。第 3 回定期総会。第 3 回バスハ 80 人。タタールスタン舞踊アンサンブル「サイダシュ」公演。第 106・107 期ロシア語・日本語教室。バラライカ・ドムラ教室。モスクワ国立アカデミー室内合唱団。第 9 回「大河アムール・大自然とふれあいの旅」。ロシア語能力検定試験対策講座。第 51 回ロシア語能力検定試験。横浜国際フェスタ。学習会「横浜と白系ロシア人」。DVD 鑑賞会「運命の皮肉」。日本語教室。バラライカ・ドムラ教室。マトリョミン教室。
2008	20	ヨールカ祭。第 4 回定期総会。総会記念講演会「日本におけるロシア」（金田一真澄）。第 108・109 期ロシア語教室・日本語教室。バラライカ・ドムラ教室。マトリョミン教室。ボランティアフェスタ参加。第 4 回バスハ。田所俊一・アイサ夫妻「ロシア音楽の午後」。第 10 回「大河アムール・大自然とふれあいの旅」。開港 150 周年記念横浜外人墓地調査。「ロシア人イーゴリに読んで味わう本格ロシア料理」教室。第 52 回ロシア語能力検定試験。横浜国際フェスタ。「平和のための戦争展 in よこはま」。「シベリア抑留体験談を聞く会」（藤木伸三）。第 6 回ロシア語週間「ロシア語のつどい」。映画「シベリヤ物語」鑑賞会とコンサート。
2009	21	ヨールカ祭。第 5 回定期総会・記念講演会「横浜外人墓地のロシア人墓碑」。第 5 回バスハ。映画『マルス』上映会。第 110・111 期ロシア語・日本語教室。バラライカ・ドムラ教室。マトリョミン教室。第 3 回墓地調査。公開講座「楽しいロシアの時間」。平和のための戦争展。ロシア料理教室。第 11 回「大河アムール・大自然とふれあいの旅」。ロシア語能力検定・同対策講座。第 2 回ロシア語公開講座。みなとみらいマトリョミン教室発表会。横浜国際フェスタ。北川記念ロシア民族楽器オーケストラ無料コンサート。横浜外人墓地調査報告記者会見。会館まつり。望年会。
2010	22	ヨールカ祭。第 6 回定期総会・講演会「ロシア・CIS の新しいツアーとその魅力」（坂田恒衛）。ロシア大使館訪問。第 113・114 期ロシア語教室・日本語教室。バラライカ・ドムラ教室。マトリョミン教室。サモワール茶会。平和のための戦争展。第 12 回「大自然とハバロフスク市民交流の旅」。映画「不毛地帯」鑑賞会。根岸外人墓地調査。神奈川県平和・国際友好団体連絡会発足。横浜国際フェスタ。第 56 回ロシア語能力検定試験。講演会「ロシア経済はどこへ向かっているか」。望年会。キルギス民族舞踊団「シャティック」団員ホームステイ受け入れ。
2011	23	ヨールカ祭。第 7 回定期総会。大山麻稀子出版記念講演会「19 世紀ロシアと作家ガルシン」。第 13 回「大自然とハバロフスク市民交流の旅」は地震・津波・原発事故の影響で中止。講演会「ロシアの国家予算」。ウラジオの画家イーゴリ・オプホフ氏受け入れ。第 114・115 期ロシア語教室。グルジア料理教室。第 57 回・58 回ロシア語能力検定試験。協会事務所、会館 1 階に移転。豊田菜穂子出版記念講演会「ロシアのアパルト事情」。事務所ローン完済、無借金経営となる。横浜国際フェスタ。ビデオ鑑賞会「オーケストラ!」。平労会館祭り。望年会。
2012	24	ヨールカ祭。第 8 回定期総会・総会記念特別講座「ロシア民謡「紡ぎ女」を歌う」、マトリョミン演奏会。横浜外人墓地見学。第 59 回・60 回ロシア語能力検定試験。チェチェン料理教室。平和のための戦争展。木佐森理事長、本部長を兼任。第 14 回「大河アムール・ハバロフスク市民交流の旅」。NPO 法人神奈川県日本ユーラシア協会創立 50 周年記念行事。横浜国際フェスタ。